



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024
ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～
2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)



多治見市政記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

令和6年9月12日(木) 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
岐阜県 現代陶芸美術館	展覧会担当 広報担当	花井 松浦	代表 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101

「清流の国ぎふ」文化祭2024

あらかわとよぞう 生誕130年荒川豊蔵展を開催します

岐阜県現代陶芸美術館では、特別展「清流の国ぎふ」文化祭2024 生誕130年荒川豊蔵展を開催します。

桃山時代の志野が美濃で焼かれていたことを自ら発見した陶片により実証し、そして「志野」と「瀬戸黒」の二つの重要無形文化財の保持者(人間国宝)となった岐阜県出身の荒川豊蔵(1894-1985)。生誕130年の機会に、現代へと続く美濃陶芸の先駆者であり、近代日本の陶芸をリードした、荒川の人となりを振り返ります。

本展覧会では、初期から晩年までの軌跡をたどりながら、陶芸をはじめ書画や収集の品々、交友や暮らしぶりをうかがう資料などで、その制作姿勢やまなざしを紹介します。若き頃、画家を志した荒川が、終生絵を描き続け、愉しんでいた姿もごらんいただけるでしょう。約180点の作品と資料により荒川豊蔵芸術の神髄に迫ります。



《志野水指》1938-1941年
岐阜県現代陶芸美術館蔵

- 会期 令和6年9月14日(土)～11月17日(日)
- 休館日 9月17日(火)、24日(火)、30日(月)
10月7日(月)、15日(火)、17日(木)、18日(金) 午前
- 会場 岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーI (多治見市東町4-2-5)
- 観覧料 一般1,000円、大学生800円、高校生以下無料
- 主催 生誕130年荒川豊蔵展実行委員会(岐阜県現代陶芸美術館、岐阜新聞社、岐阜放送)
- 関連催事

■水月窯の汲出茶碗に絵付けをしよう

荒川豊蔵が考案した水月窯定番の汲出の絵付け体験です。指をつかって梅花文の絵付けをします。水月窯見学とセットのプランと、美術館で展覧会鑑賞とセットのプランがあります。

A: 荒川豊蔵ゆかりの「水月窯」を見学し汲出茶碗の絵付け体験をしよう

9月15日(日) 会場: 水月窯

B: 「荒川豊蔵展」を鑑賞し汲出茶碗の絵付け体験をしよう

9月16日(月・祝) 会場: 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

講師 水野繁樹氏(水月窯)

参加費必要・要事前申込

■セラパークあそび隊！コラボレーション企画

荒川豊蔵展でみて・つくって・たのしむ茶道具：My茶杓をつくってみよう

9月21日（土）10：15～15：00

会場 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

協力 岐阜県立森林文化アカデミー

参加費必要・要事前申込

■記念講演会「人間国宝 荒川豊蔵の作品世界とその魅力」

9月22日（日）14：00～15：30

講師 からさわまさひろ 唐澤昌宏氏（国立工芸館館長）

会場 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

聴講無料・要事前申込

■「生誕130年荒川豊蔵展」記念呈茶

荒川豊蔵が好んだお茶を豊蔵の茶碗で一服。見て、触れて、味わって、荒川豊蔵を感じてみませんか。

た点て出しの呈茶で楽しめます。

10月5日（土）・6日（日）

開始時間 各日①10：00 ②11：00 ③13：00 ④14：00 ⑤15：00

会場 セラミックパークMINO 茶室

席主 とよばけいこ 豊場佳子氏

要料金・要事前申込

■特別ギャラリートーク

10月12日（土）14：00～15：00

講師 かとうけいこ 加藤桂子氏（荒川豊蔵資料館学芸員）

■ギャラリートーク

日時：9月29日（日）、10月27日（日）、11月10日（日）各日14：00～

岐阜県現代陶芸美術館

検索 

ホームページ：<https://www.cpm-gifu.jp/museum/>